

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【公表番号】特表 2019-511465 (P2019-511465A)

【公表日】平成 31 年 4 月 25 日 (2019.4.25)

【年通号数】公開・登録公報 2019-016

【出願番号】特願 2018-542140 (P2018-542140)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/403 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/403

A 6 1 P 31/20

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/26

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 14 日 (2020.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

4 - トリフルオロメチル - N - (3 , 3 a , 4 , 4 a , 5 , 5 a , 6 , 6 a - オクタヒドロ - 1 , 3 - ジオキソ - 4 , 6 - エテノシクロプロパ [f] イソインドール - 2 (1 H) - イル) - ベンズアミド (テコピリマット (S T - 2 4 6)) およびシメチコンを含む乾燥懸濁物。

【請求項 2】

少なくとも 1 種の懸濁化剤をさらに含む、請求項 1 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 3】

前記懸濁化剤がメチルセルロースまたはヒドロキシプロピルセルロースである、請求項 2 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 4】

前記メチルセルロースがメチルセルロース 4 0 0 C p s である、または、前記メチルセルロースが 1 5 C p s である、請求項 3 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 5】

メチルセルロースおよびヒドロキシプロピルセルロースを含む、請求項 2 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 6】

1 種または複数の、潤滑剤、賦形剤、消泡剤、甘味料、および / または風味料をさらに含む、請求項 1 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 7】

前記潤滑剤がステアリン酸マグネシウムである、および / または、前記賦形剤がラクトース水和物である、請求項 6 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 8】

前記 ST - 246 が ST - 246 多形 I 型、ST - 246 多形 II 型、ST - 246 多形 III 型、ST - 246 多形 IV 型、ST - 246 多形 V 型および ST - 246 多形 VI 型からなる群から選択される、請求項 1 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 9】

前記 ST - 246 が微粒子化される、または、前記 ST - 246 が造粒される、請求項 1 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 10】

前記シメチコンが顆粒状形態である、または、前記シメチコンが液体形態でかつラクトース水和物上に吸着される、請求項 1 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 11】

1 種または複数の、10 ~ 70 重量 % の ST - 246、0.2 ~ 6.0 重量 % のシメチコン、1 ~ 5 重量 % のメチルセルロース、1.0 ~ 3.0 重量 % のヒドロキシプロピルセルロース、0.1 ~ 1.0 重量 % の潤滑剤、10 ~ 20 重量 % の賦形剤、1.0 ~ 3.0 重量 % の甘味料、および / または 0.1 ~ 1.0 重量 % の風味料を含む、請求項 1 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 12】

前記 ST - 246 の粒径が 0.5 ~ 10 μ m である、請求項 1 に記載の乾燥懸濁物。

【請求項 13】

請求項 1 に記載の乾燥懸濁物および水を含み、薬学的に許容可能な成分を任意選択でさらに含む、水性医薬懸濁剤。

【請求項 14】

前記薬学的に許容可能な成分が担体、賦形剤、希釈剤、添加剤、フィラー、潤滑剤および結合剤からなる群から選択される、請求項 13 に記載の製剤。

【請求項 15】

4 ~ 7 の pH を有する、請求項 13 に記載の製剤。

【請求項 16】

請求項 13 に記載の製剤をそれを必要としている対象に経口投与することを含むオルソボックスウイルス感染および / または種痘性湿疹を処置する方法。

【請求項 17】

前記対象が毎日 400 mg ~ 2000 mg の ST - 246 を投与される、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

シメチコンおよび任意選択で少なくとも 1 種の懸濁化剤、少なくとも 1 種の潤滑剤、少なくとも 1 種の賦形剤、少なくとも 1 種のさらなる消泡剤、少なくとも 1 種の甘味料および / または少なくとも 1 種の風味料と ST - 246 を混合することを含む、請求項 1 に記載の乾燥懸濁物を製造するプロセス。

【請求項 19】

前記混合することが幾何学的混合を用いて実施される、請求項 18 に記載のプロセス。

【請求項 20】

水中に乾燥懸濁物を分散させることを含み、前記水が任意選択で懸濁化剤を含む、請求項 13 に記載の製剤を製造する方法。